

画像診断から診る徒手医学

画像診断の基礎から神経学的脱落所見の診方



2018年6月9・10日

お申込み：6月2日まで

定員になり次第〆切します

info_immsj@yahoo.co.jp

セミナー概要

開催日	平成30年6月9日 14:00～18:00 (13:30 受付開始) 平成30年6月10日 9:00～15:00
開催場所	九州中央リハビリテーション学院 (http://www.kcr.ac.jp/)
講師	荒木秀明 (日本臨床徒手医学協会代表理事)
内容 (講義)	<ul style="list-style-type: none">● 画像診断総論(単純・造影・MRI)● 正常MRIの診方● 腰痛MRI兆候の価値● 腰部脊柱管狭窄症の画像診断
内容 (実技)	<ul style="list-style-type: none">● 自動運動と画像診断の診方● 神経学的脱落所見の診方の実際● ケーススタディ： 難治性椎間板障害に対する超音波療法と安定化運動と Home exercise (姿勢指導まで)
定員	40名程度
受講料	iMMSJ 認定セラピスト：20,000円 iMMSJ 会員：30,000円 会員外：40,000円

その他	筆記用具持参、動きやすい服装（ジーパン、スカート不可）
申し込み方法	ホームページ（info_immsj@yahoo.co.jp）から必要事項を記載の上、お申込み下さい

【画像診断から診る徒手医学】

講師：荒木秀明（日本臨床徒手医学協会代表）

- 日本臨床徒手医学協会テクニカルコース「画像診断から診る徒手医学」。

いまさら聞けない「画像診断」の基礎から「神経学的脱落所見（腱反射・感覚・筋力）」の実際。単純X線では基本となるA(Alignment), B(Bone), C(Cartilage)を正常画像と異常画像の違いを提示します。MRIではT1とT2の簡単な理論から正常画像と、実際の症例の画像を提示します。「多発性圧迫骨折」でどの骨折部位が今回の傷害の責任病巣なのか？「椎間板ヘルニア」でこのヘルニアは吸収されるのか？難治性なのか？難治性の場合の超音波療法と腰椎安定化をプレゼンテーション予定です。

- 「腰痛の画像」を診ることができるようになりたい
- 「特異的腰痛症と非特異的腰痛」の鑑別ができるようになりたい
- 「圧迫骨折の画像と臨床所見」から急性と慢性の鑑別ができるようになりたい
- 「画像診断と神経学的脱落所見」の実際の方法をできるようになりたい